

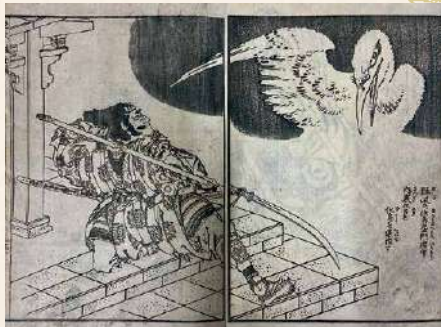


【北越奇談】より「編者崑崙新潟にて龍巻にあう」

「あなたは信じる？摩訶不思議」展は、北斎が描いた妖怪や幽霊、地方に伝わる怪談、奇談などの摩訶不思議な世界にスポットを当てた展覧会です。作画人生の中で多くのものを描いてきた北斎ですが、その中には実に不可解な現象や物事を描いたものも多く存在します。

文化9年（1812）刊行された『北越奇談』は、越後（現在の新潟県）の伝承や怪奇現象をまとめた随筆書です。人を飲み込むほど大きな蝦蟇蛙や、海の上を漂う幽霊船、夜な夜な人里に現れる山男の話など、現地の人が実際に見た、体験したと伝わる身の毛もよだつような話が多く収められています。

江戸で人気を博した読本『樞説弓張月』には、禍と呼ばれる、体は牛、顔は虎で牙を剥き、人々に喰らいつく獐猛な怪物が登場しますし、『皿血郷談』や『国字鶴物語』にも、見る者をゾッとさせる幽霊、亡霊が多く描かれました。それらの話はどれも「信じたくない」と思ってしまうほどの恐怖を感じるものばかりです。



【絵本魁】より「暗闇に現れた化鳥」



【歌歌妹背山】より「智勇だめしの為に現れた妖怪たち」

一方、北斎の代表作である『北斎漫画』には、鶏や犬の鳴き声による吉凶占いや、おまじない、神通力など、困った時に「信じたくない」ものも描かれています。

煙をレンズのようにして顔を映す煙面や、手から波を生み出す拳中浪、見る者をはらはらさせる呑刀、腕切などの「奇術」は、実に信じ難い怪しげな空気を放っているものの、どこか滑稽で「怖いけど見てみたい」という好奇心を駆り立てます。

さあ、北斎の描く怪しげな世界を覗きに行きましょう。あなたはその「摩訶不思議」な世界を信じますか？



【北越奇談】より「すっぽんの怪異」

北斎館ご案内

■開館時間

午前9時～午後5時
（ご入館は午後4時30分まで）

■駐車場

北斎館駐車場（北斎館に隣接）
大型車・中型車2,000円
マイクロ1,500円、普通車400円
（いずれも3時間まで）

■アクセス

- 電車ご利用の場合
JR長野駅「善光寺口」を出て長野電鉄 特急約20分、普通約30分、小布施駅下車徒歩12分
- 車でお越しの場合
国道18号線「豊野」信号から約10分、上信越自動車道「小布施PAスマートインター」（ETC車専用）から約8分、「須坂長野東インター」から約20分、「信州中野インター」から約15分

